



インターネットを安全に使う

スマートフォンやタブレット、ゲーム機などで、小学生もインターネットを使う機会が多くなりました。便利な反面、危険なこともたくさんあり、トラブルになるケースも増えています。

気をつけたいインターネットのトラブル

◆SNSのトラブル

ネットに書き込んだ情報は誰が見ているかわかりません。悪用されることもあるので、名前や住所、学校名、写真などの個人情報、インターネット上に書き込まないようにしましょう。誰かの悪口やうそ、うわさ話を書くこともやめましょう。友達の写真や動画を勝手にのせてはいけません。



名前、住所や写真など
個人情報は
書き込まない

◆オンラインゲームの高額請求

オンラインゲームでアイテムやキャラクター等を手に入れようとして夢中になり、よくわからないままに、高額な課金をしてしまうトラブルです。有料のアイテムなどをかうときは、必ずおうちのの人に相談しましょう。



アイテムで請求
8,000円

◆ワンクリック請求

無料動画などを見ようとアクセスしただけで「会員登録」したことになり、料金を請求されるトラブルです。アニメやゲーム等のサイトから有料のページに誘導されるケースもあります。サイトにアクセスしただけでは契約は成立していません。あわてて連絡しないようにしましょう。



有料ページに...
どうしよう...
いつの間にか

家族で決めたルールを守ろう

安全に楽しく利用するために、家族で話し合っルールを決め、しっかりと守ることが大切です。また、使用するスマホなどに、ペアレンタルコントロールやフィルタリングの設定をして、安心して利用できるようにしましょう。

ペアレンタルコントロールとは...

保護者がこどものパソコンやスマートフォンの利用時間やアプリごとの利用制限、ゲームの時間管理など、機器全体の安全な利用環境を管理すること。

フィルタリングとは...

ペアレンタルコントロールの代表的な機能。出会い系サイト、アダルトサイト等、トラブルの原因となる情報へのアクセスや利用の制限・調整ができるツール。



保護者のみなさまへ

消費者トラブルにあわないためには、未成年のうちから「お金の使い方」や「契約とはどんなものか」などの心構えや考え方を身につけておくことがとても大切です。このリーフレットでは、ご家庭でのコミュニケーションの材料となる情報をお知らせしています。ぜひ、お子さまと一緒にご覧ください。

※令和4年4月の民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げられました。

消費者教育ウェブ教材「伊達学園」をご活用ください！

年代ごとに消費者トラブルにあわないための心得などが学べます。スクロールゲームやクイズコンテンツなどもあります。



マスコットキャラクター
さっち

消費者トラブルで困ったときは早めに相談を 仙台市消費生活センター

消費生活相談ダイヤル

☎022-268-7867

〒980-8555 仙台市青葉区一番町四丁目11番1号
141ビル(三越定禅寺通り館)5階

または消費者ホットライン

☎188 (局番不要)

仙台市消費生活センターHP

QRコードを読み取るか画像をクリック



しょうがくせい
小学生もみんな消費者！

親子で考えよう！ 消費生活のこと



消費者ってなんだろう？

みなさんは「消費者」という言葉を知っていますか？ お金を払って商品を買ったり、サービスを利用したりして生活している人のことを「消費者」といいます。本やお菓子を買ったり、地下鉄やバスに乗ったりする人は、大人だけではなく、小学生もみんな「消費者」です。
おうちのひとと一緒に消費生活のことを考えてみましょう！

せん だい し しょう ひ せい かつ
仙台市消費生活センター



買い物は「契約」

私たちが普段、何気なくしている買い物は、実は「契約」です。契約とは「法律上の約束」のことで、買う人が「買う」という意思を示し、売る人は「売る」という意思を示して、合意すると契約が成立します。成立した後は自分の都合だけで買うことをやめたり、品物を返したりすることは原則としてできません。



お金は大切！よく考えて使おう

みなさんが買い物をするときに使っているお金は、おうちの人が働いて得たものです。お金をかせぐことはかんたんではありません。むだ使いをしないように、買い物をするときは、本当に必要なものかよく考えて、自分の条件に合う商品を選びましょう。時にはがまんして、おこづかいをためて本当に欲しいものや値段の高いものを買うなど、工夫して使うといいですね。



おこづかい帳をつけてみよう



使ったお金と残っているお金が一目でわかるように、おこづかい帳に書いてお金を管理してみましょう。むだ使いしないで上手なお金の使い方ができているか、おうちのひとと話してみましょう。

電子マネーって何？

電子マネーは現金を使わずに支払いができるとても便利なお金です。みなさんもバスや地下鉄に乗ったり、買い物をしたりするときにお金で支払うかわりにカードやスマートフォンを使ったことはありませんか？ 電子マネーはおさいふからお金が減らないので、いくら使って、いくら残っているかが分かりにくい点があります。使い方をよく考えて、お金と同じように大切に使いましょう。



買い物をするときはよく考えて選ぼう

買い物をするときに商品の値段や特徴などの情報を調べたり、くらべたりして選ぶことはとても大切です。また、デザインや値段だけでなく、「どこでつくられたものか」「環境にやさしいものか」など、社会や環境のことを考えて選択ができるよう、たしかな知識を身につけておきましょう。

環境に配慮した商品を選ぼう

商品を選ぶときに、それがどのようなものから作られているか、また、ごみとして捨てる際に資源ごみとして分別し、リサイクルできるものかなどを確認し、環境に配慮した地球にやさしい商品を選んで買うようにしましょう。

◎環境やリサイクルに関係したマーク



安全なものを選んで正しく使う

商品を選ぶときは、自分の目で安全性を確認してから買いましょう。使い方をまちがうと事故が起こってしまうこともあります。商品を買ったら、まず取扱説明書などで、正しい使い方や使用上の注意をよく読んで、確認してから使いましょう。わからないことがあった時は、家族などに相談しましょう。

◎安全性の目安になるマーク



このほかにも、様々な表示やマークがついている商品があります。見つけたらどんな意味があるのか調べてみましょう。



3つのRで地球にやさしく

使えなくなったものをかんたんにごみとして捨ててしまうことは、地球の環境にかかわってきます。環境を守るためにも、日ごろからごみを減らす工夫をして、限りある資源を大切に使いましょう。

